



北海道版

北海道ノーモア・ヒバクシャ会館内
TEL/FAX 011-866-9545

● 発行所

被爆者連絡センター

札幌市白石区平和通

17 丁目北 6-7

北海道被爆者連絡センター ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org) メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

— 2026 年度を新たな希望の年に — 被爆者連絡センター 定期総会開かれる

5 月 30 日、前年に発足した北海道被爆者連絡センターの 2 回目の総会が開かれ、全議案が承認されました。

日本被団協のノーベル平和賞受賞を承けて迎えた被爆 80 年、昨年は大変忙しい一年でした。それまでやってきた道庁での「被爆の証言と原爆展」は、札幌南高定時制の生徒の朗読劇、被爆二世の発表を加えて実施、そして 8 月 6 日の被爆者追悼会、被爆者の各地各所での語り部活動に加え、マスコミ取材も増え、ノーモア被爆者会館の来館者も大幅に増加したことなどが報告されました。

『被爆者の証言第 5 集』の発行、北海道が主催し赤レンガ庁舎で行われた『ヒロシマ・ナガサキの証言』展は、知事も参加し、被爆遺品・パネルの展示と被爆者と二世の語り部、高校生の朗読劇などが行われました。

今年度は会費会員が 54 名、被



爆者、二世会員が少し増え、全体星学園に保険料、水道光熱費の負担をしていただき、経営連携の意義の一つが示されました。

今年度方針では、これまでの活動を継続するとともに、『北の里から平和の祈り』絵本の増刷、学校関係者との連携強化、前年出来なかった被爆者相談体制の確立、滞りがちだった SNS 発信の強化などを行うことなどが確認されました。

また非被爆者を中心とする会員の拡大、助成金の継続などにより、引き続き組織の安定を図る旨が確認されました。

再び被爆者をつくるまい
平和行進札幌集結集行われる

5 月 23 日、札幌平和行進集結集会が札幌駅南口広場で行われました。

核拡散防止条約(NPT)再検討会議が、最終合意文書を採択できずに終わった翌日のこと、



7 歳の時長崎で被爆した連絡センター代表の宮本須美子さんは「核を持つていけば戦争が終わるわけではない、世界が平和になるわけではない、再び被爆者をつくらないために訴え続けま

す」と決意を話されました。

被爆二世プラスの会会長の川去裕子さんも参加し、一緒に横断幕を持ちました。平和行進はヒロシマに向け全国で取り組まれています。

★ノーモア・ヒバクシャ会館休館日
8 月 10 日(月)から 17 日(月)まで
休館します。

